

毎月11日は

防災を(考)える日 ~ episode121 ~

問 危機管理課 防災安全係 ☎ 22-3402



「大雨・台風シーズン到来に備えて」

これからのシーズンは、梅雨末期の集中豪雨や台風の接近などにより、水害や土砂災害の危険性が一気に高まる季節の始まりです。近年は「線状降水帯」による記録的な大雨も多発しています。いざという時に慌てないように、本格的なシーズンを迎える今、以下の3つの備えを確認しましょう。

① ハザードマップと避難ルートの確認

ご自宅の「浸水・土砂災害リスク」と、安全な高台や避難場所へのルートをご家族で再確認してください。

② 防災情報の入手手段を確保

市の公式 LINE、県の『みやぎ防災』（みやぎ県民公式アプリ「ポケットサイン」内のミニアプリ）などを登録し、早めに情報を得られるように準備しておきましょう。

③ 熱中症を防ぐ「夏用防災グッズ」

停電時の暑さに備え、いつもの持ち物に以下を追加しましょう。

- 飲料水（経口補水液など塩分も摂取できるもの）
- 塩飴や塩分タブレットなど
- 冷却用品（扇子・うちわ、クールリング、瞬間冷却パックなど）

日頃の備えが命を守ります。被害が起きやすいこれからの季節に向け、点検をお願いします。

▼市ハザードマップ



▼市公式 LINE



■防災基礎クイズ

Q 災害に備えて用意しておく「非常持ち出し袋」。一般的に、中に入れておく水や食料は「最低何日分」が必要とされているのでしょうか？ ① 1日分 ② 3日分 ③ 1週間分

毎月11日は「防災を考える日」です。震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。

答え: ② 3日分(災害時には、支援物資が届くまでに時間がかかることがあります。最低でも3日分、できれば1週間分の備蓄を日頃から心がけよう)